Panasonic

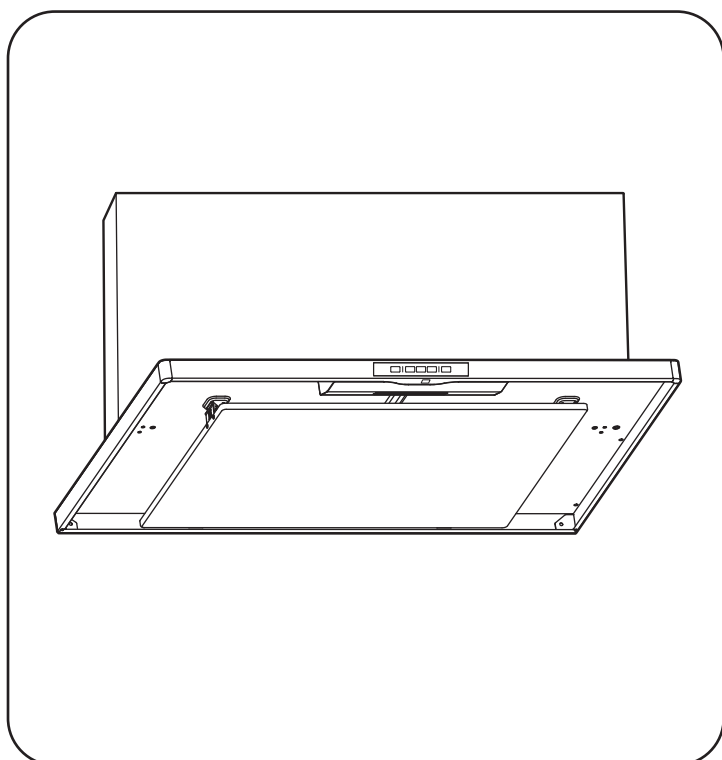
取扱説明書（保管用）

レンジフード

シロッコファンタイプ

品番
S43AHWZ1M　600幅
S43AHWZ2M　750幅
S43AHWZ3M　900幅

家庭用　保証書付

もくじ

換気連動システム対応型

このレンジフードは、弊社換気連動システムに対応した調理機器との組み合わせにより、換気連動システムとしても使用することができます。適応する調理機器は販売店にご確認ください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(2ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書（23ページ）は、「お引き渡し日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

分解禁止

絶対に分解したり、修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。
●修理はお買い上げの販売店・工事店またはこの説明書に記載の「修理ご相談窓口」へご相談ください。

水ぬれ禁止

モーターやスイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしない
ショートや感電のおそれがあります。

ぬれ手禁止

分電盤のブレーカーをぬれ手で切／入しない
感電のおそれがあります。

禁止

ガス漏れのときはレンジフードのスイッチを入れたり切ったりしない
スイッチ火花によりガス爆発の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない
定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

必ず守る

交流100Vで使用する
火災・感電の原因となります。

電気工事、管工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」がおこなう
火災、感電のおそれがあります。

⚠ 注意

接触禁止

運転中や停止後しばらくの間は、羽根の中に指や物を入れない
けがをするおそれがあります。

禁止

フード本体の上には物を置かない
落下により、けがをするおそれがあります。

お手入れの際は、換気連動システムに対応した調理機器を操作しない
けがをするおそれがあります。

フード本体にぶら下がったり、もたれたりしない
落下して、けがをするおそれがあります。

照明を直接見ない
目がくらんだり、傷めたりするおそれがあります。

電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切る
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

必ず守る

使用を終了した製品は放置せず、撤去する
万一の場合、落下により、けがをするおそれがあります。

設置工事は必ず専門の工事業者に依頼する
けがをするおそれがあります。

本体はしっかり取り付けられているか、確認する
落下により、けがをするおそれがあります。

部品は確実に取り付ける
落下したり、けがをするおそれがあります。

お手入れの際は、次のことを守る
・厚手のゴム手袋を使用する
・部品が十分冷めてからおこなう
・本体のスイッチを「切」にし、スイッチをロックする（5ページ）
やけどやけがをするおそれがあります。

使用上のお願い

使用中は

■調理の際は、必ずレンジフードを運転してください。
運転しないとレンジフード内が高温になり、故障の原因となります。

■レンジフード運転時は、十分な給気を確保してください。
給気が不足すると、不完全燃焼・吸い込みが悪くなる・異臭がする・扉が開きにくくなる・すきま風の音が大きくなるなどの現象が発生します。

■油に火がついたときは運転を停止してください。
レンジフードが動作していると火の勢いがさらに強くなります。

■調理部周辺に風があたらないようにしてください。
エアコンなどの風を受けると、吸い込みが悪くなります。
特に、電気調理機器は調理による上昇気流が少ないため、油煙がフードから漏れやすくなります。

■フィルターに市販のフィルターを重ねて使用しないでください。
吸い込みが悪くなります。

■炎のあがる調理はしないでください。
レンジフード内の異常高温による故障の原因となります。

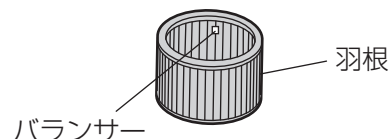
■テレビやラジオなどは、フード本体から1m以上離してお使いください。
放送電波に雑音が混入し、聞こえにくくなったり、耳ざわりに感じることがあります。

IH調理機器を使うときは

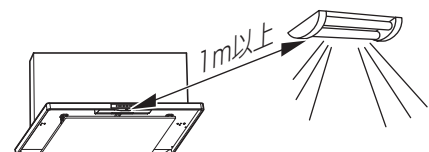
■冬期など気温の低い時期は、結露（水滴）が生じることがあります。
フード本体：結露（水滴）が滴下する前にふき取ってください。
オイルキャッチ：こまめに水を捨ててください。

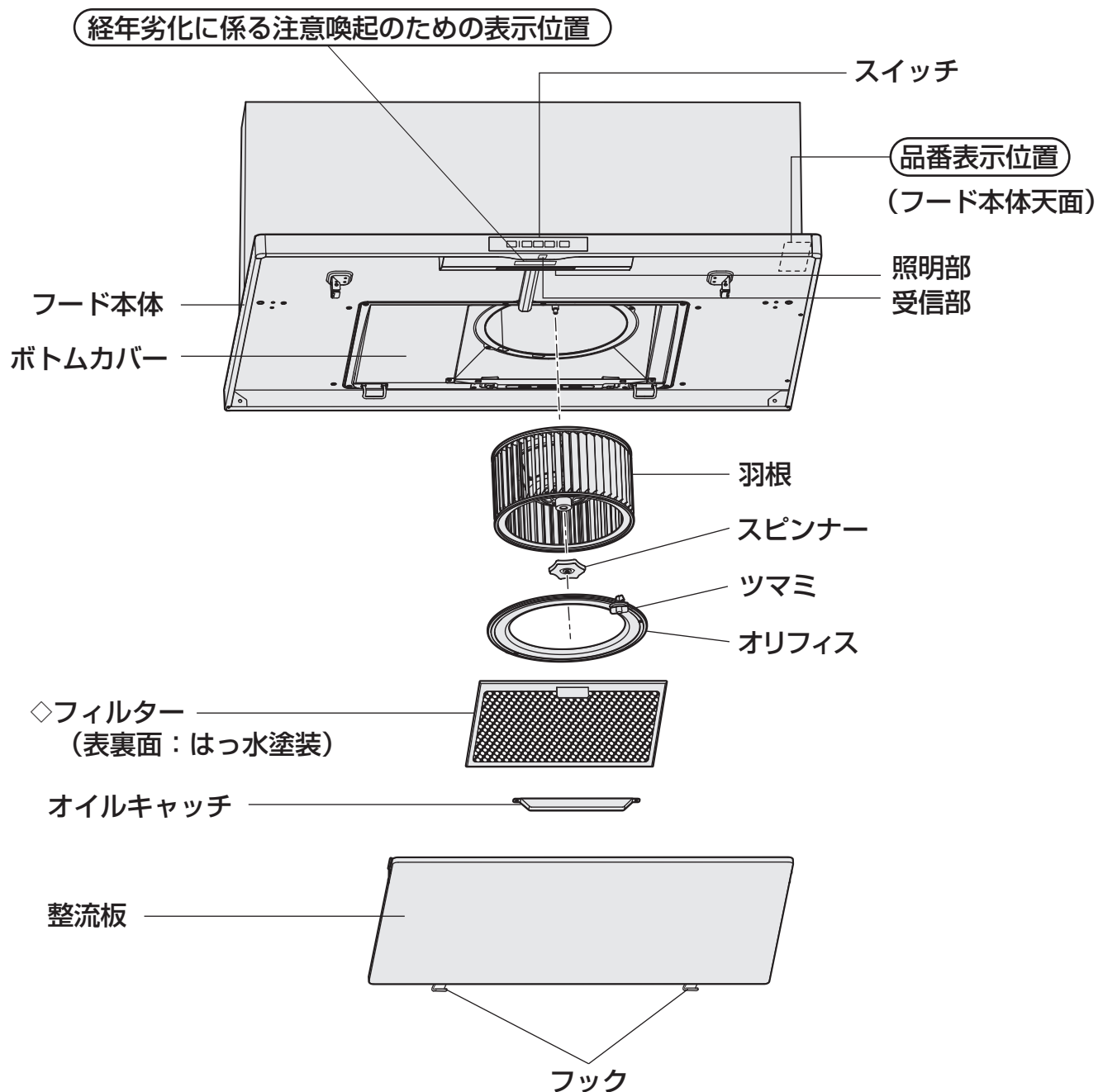
お手入れのときは

■羽根を外した状態でスイッチを入れないでください。
回転数が上がり、モーターが焼きつくことがあります。

■バランサーは外さないでください。
異常や故障の原因となります。

製品の移設やリフォーム時の注意（換気連動システムを使うとき）

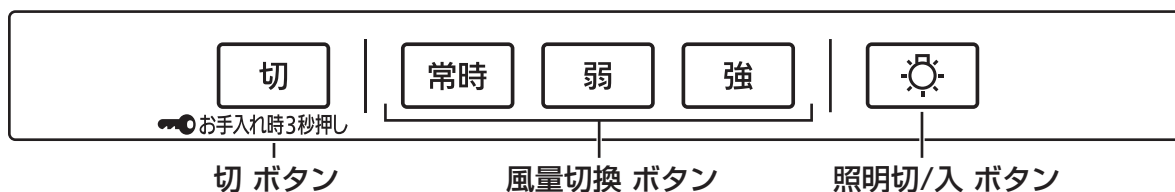
■受信部と照明器具を近づけすぎない。
照明器具が受信部から1m以内に設置された場合、換気連動システムが正常に動作しないことがあります。

■直射日光があたるなど、極端に明るい場所には設置しない。
調理機器側からの赤外線の信号受信が妨げられ、動作しないことがあります。

各部の名前 品番および経年劣化に係る注意喚起のための表示位置

お願い 品番をご確認ください。
（修理依頼などのアフターサービスをご利用の際に、品番が必要になります）

◇印　はっ水塗装（ ☞ 7ページ参照）

◇印の部品は、塗装の違いにより色合いが多少異なります。

使いかた

■スイッチ

ボタン	説明
常時 弱 強 風量切換 ボタン	**押したボタンの風量で運転を開始する** 停止中に1回押すと、約5秒後に押したボタンの風量で運転します。 常時　弱　強 **常時** 住宅全体の連続換気。 油煙の非常に少ないとき。 **弱・強** 油煙の量に合わせて使い分けます。 弱…油煙の少ないとき。 強…早く換気したいとき・油煙が多いとき。 ＊レンジフード運転中は、風量に合わせて風量切換ボタンが点灯します。
照明切/入 ボタン	**照明をつける/消す** 押すごとにON⇔OFFします。
切 お手入れ時3秒押し 切 ボタン	**運転中に押すと運転を停止する** 「常時」で約3分間運転（残置運転）したあと停止します。 ※残置運転は、調理後の部屋に残ったニオイを排気するための機能です。 残置運転開始：切　1回押し すぐに停止：切　2回押し 残置運転
	停止中に3秒長押ししてスイッチをロックする/解除する お手入れの際、けが防止のためにスイッチを操作できなくします。 ロックする：切　3秒長押し　ピピ 解除する：切　3秒長押し　ピー ※ロック時は他のスイッチを操作しても運転しません。（ピーピーピーピー音） ※ファン停止時のみロック設定が可能です。

常時換気モードについて

本レンジフードは建築基準法による住宅の常時換気をおこなう設備として使用できます。

■**常時換気設備として使用する場合**（スイッチ近傍に「24時間連続換気してください」のお願いラベルが貼ってあります。）

- 調理時やお手入れ時以外は、常に「常時」ボタンを押して連続換気をおこなってください。

■**常時換気設備として使用しない場合**

- 調理時以外に連続換気する必要はありません。
- 「常時」モードは微弱モードとして「弱」よりも少ない風量で換気したいときにご使用になれます。

換気連動システム（換気連動システム付調理機器をご使用の場合）

調理機器からの赤外線信号をレンジフードが受信し、自動的に運転/停止します。

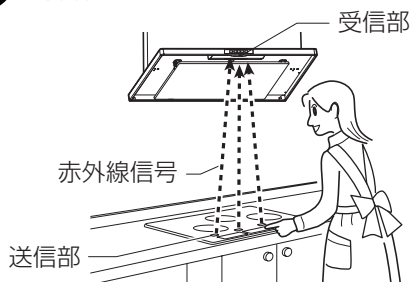
調理機器の操作	レンジフードの動作	風量表示	照明
入	「弱運転」します。	弱 が点灯	点灯 ※1
切	「常時」で約3分間運転（残置運転）したあと停止します。 ※2	常時 が点滅し、その後消灯	消灯 ※3

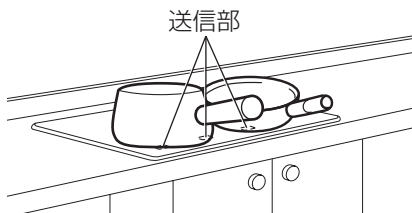
※1　照明連動モードが解除されていると、照明は点灯しません。（17ページ）
※2　常時換気モードに設定されているときはレンジフードは停止せず、風量「常時」で24時間連続運転します。（17ページ）
※3　手動で照明操作すると、手動での照明操作が優先され、照明の連動はしなくなります。

赤外線信号をさえぎると換気連動システムが働かないことがあります。

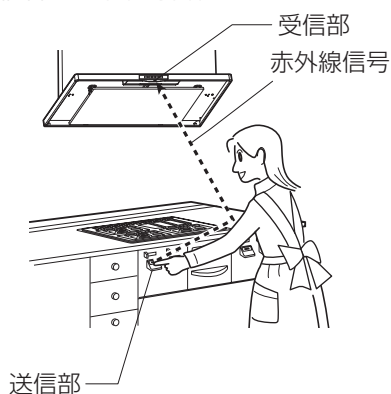
IH調理機器では

調理機器の送信部から本機の受信部へ赤外線信号を送っています。

○ 赤外線信号をさえぎらないように操作する。

× レンジフードの真下に頭を近づけない。

× 鍋などで、送信部を隠さない。

ガス調理機器では

赤外線信号を人に反射させています。

カウンターから約20～30cm離れ、送信部の正面で操作する。

●次のような場合は連動しないことがあります。
・送信部に近すぎる　・送信部から離れすぎている
・正面に立っていない
・黒っぽい服を着ている
（赤外線信号が反射されにくいため）
連動しないときは、レンジフードの風量切換ボタンで操作してください。

●ガス調理機器の電池が消耗すると正常に動作しません。調理機器の説明書を確認し、電池を交換してください。

・換気連動システムは、弊社換気連動システム付調理機器との組み合わせが必要です。
（他社製調理機器との組み合わせでは動作しないことがあります）
対応調理機器については販売店までお問い合わせください。
・調理機器の取扱説明書もよく読んでご使用ください。
・換気連動システムが正しく動作しているか、風量切換ボタンや照明でご確認ください。

お手入れのしかた

（フィルター、オイルキャッチは交換部品としてお求めになれます）

⚠ 注意

接触禁止

運転中や停止後しばらくの間は、羽根の中に指や物を入れない
けがをするおそれがあります。

禁止

お手入れの際は、換気連動システムに対応した調理機器を操作しない
けがをするおそれがあります。

必ず守る

お手入れの際は、次のことを守る
- **厚手のゴム手袋を使用する**
- **部品が十分冷めてからおこなう**
- **本体のスイッチを「切」にし、スイッチをロックする（5ページ）**

やけどやけがをするおそれがあります。

お願い

■製品の変色、変質、変形防止のため、下記の洗剤などは使わないでください。
■部品の変色、変質、変形防止のため、高温（浴用より高い）の湯の漬け置き洗いや食器洗い乾燥機の使用などはしないでください。
■高圧清掃水、高温スチームは使用しないでください。

・汚れを長期間放置すると、汚れが落ちなくなったり、部品が外れなくなったりすることがあります。早めにお手入れをしてください。
・調理直後は、フード本体各部が熱くなっていることがあります。冷めたことを確認してからお手入れしてください。
・お手入れ時は調理をやめ、鍋などはレンジフードの下に置かないでください。
・高い所での作業は、足元に十分注意してください。

塗装の変質･変色･はがれ防止のため、下記のようなものなどは使用しないでください。

はっ水塗装について

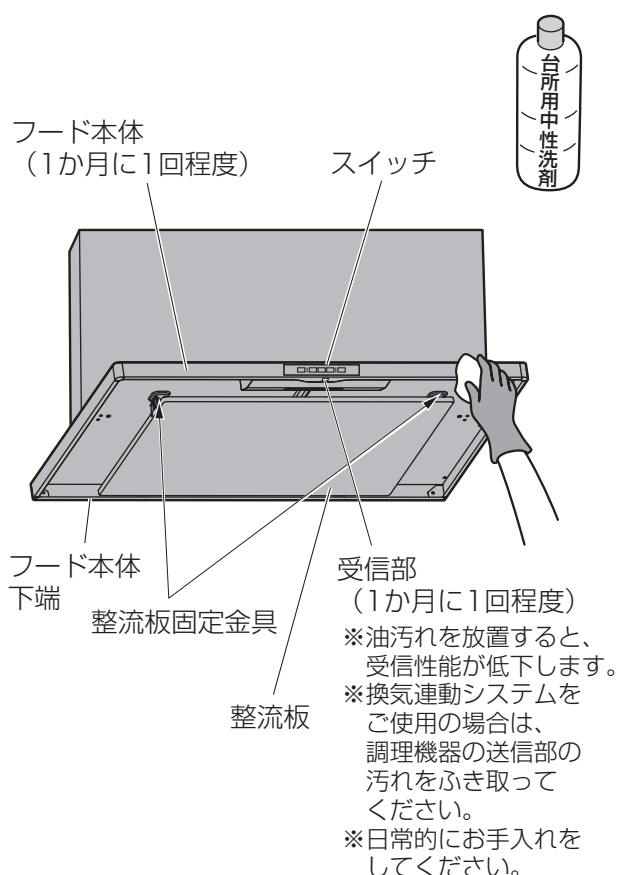
■フィルターには油汚れの取りやすい「はっ水塗装（フッ素処理）」をしています。

お願い

・はっ水塗装（フッ素処理）の効果を生かすためには、早めのお手入れ(1か月に1回程度)が必要です。

お手入れのしかた（続き）

お手入れ
適宜

フード本体外側のお手入れ

①ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸した布で油汚れをふき取る。

②水ぶきする。

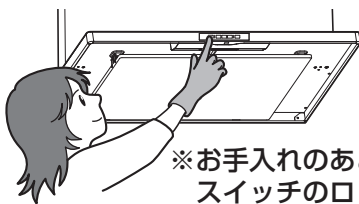
・ご使用頻度や環境、調理の種類により汚れ度合いは異なり、付着した水分や油分が滴下するおそれがありますので、滴下前にふき取ってください。
・フード本体の内面に付着した油がフード本体下端にたまる場合がありますので、ふき取ってご使用ください。

お願い

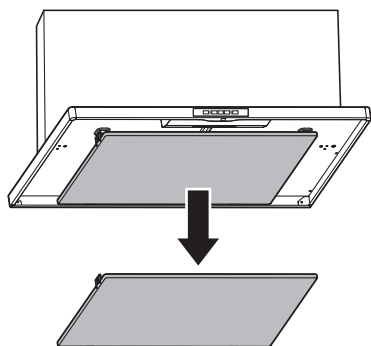
・汚れが目立つ場合は、日常的にお手入れをしてください。フード本体に付着した油が滴下したり、汚れが取れにくくなったり、部品が外れなくなる場合があります。
・整流板固定金具を変形させないでください。整流板が落下するおそれがあります。
・部品が傷んできたら、早めに交換してください。

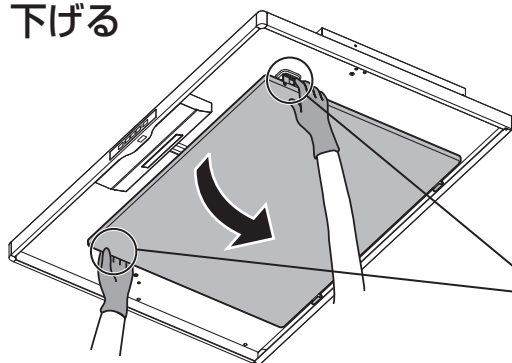
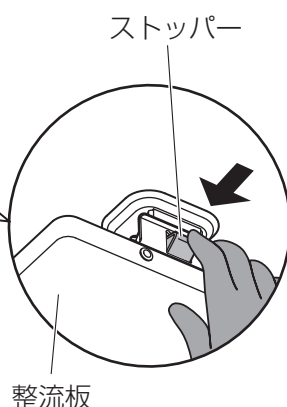
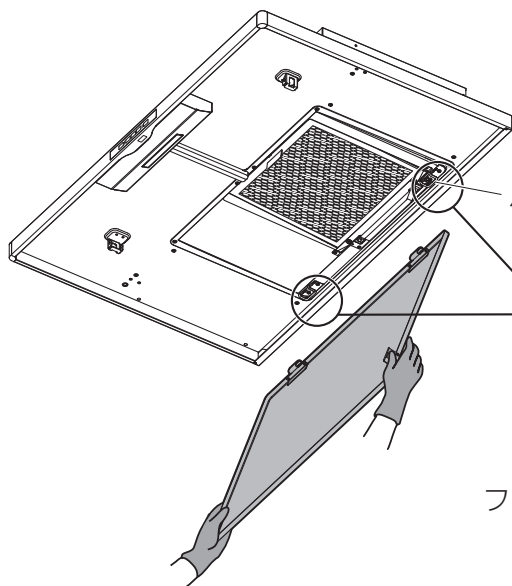
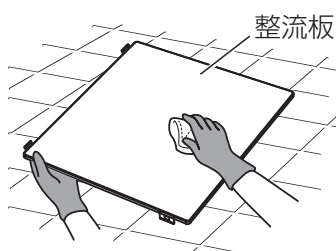
「1か月に1回程度のお手入れ」→次ページ

お手入れの前に

フード本体の
スイッチをロックする

※お手入れのあとは
スイッチのロックを
解除してください。

1 整流板のお手入れ（外しかた／汚れを取る）

取り外す

※油や結露水が流れ出ることがあります。
整流板を下まで下げる前に、内側を確認し、たまった油や結露水はキッチンペーパーなどでふき取ってください。

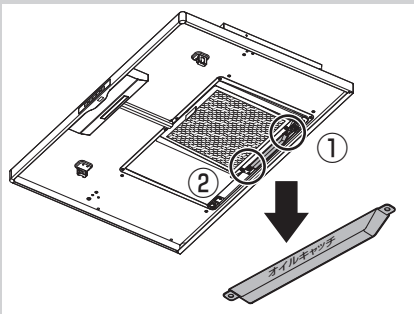
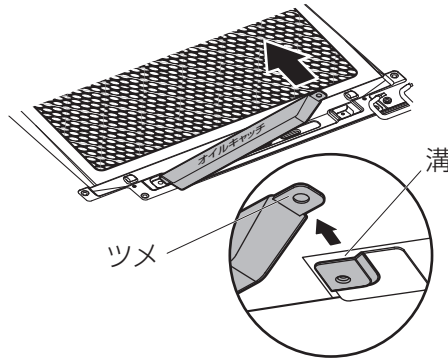
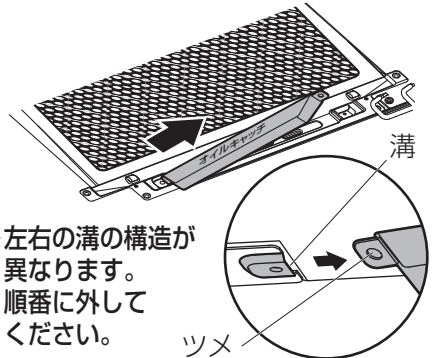
①左右のストッパーを指で押し込み、整流板を下に下げる

※整流板の開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。
落下させると突起物に干渉し、変形および破損のおそれがあります。

②フックをハンガーから取り外す

汚れを取る

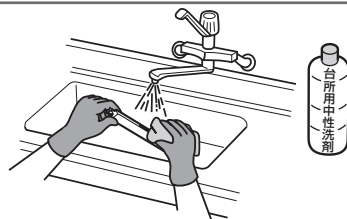
①水分を含ませたスポンジ・ふきんなどで汚れをふき取る。
②がんこな汚れの場合は、台所用中性洗剤に浸したスポンジで汚れをふき取る。
洗剤が残らないように水ぶきする。

お願い 外した整流板は平らな場所でお手入れをしてください。
変形・傷の原因となります。

→ 2 へつづく

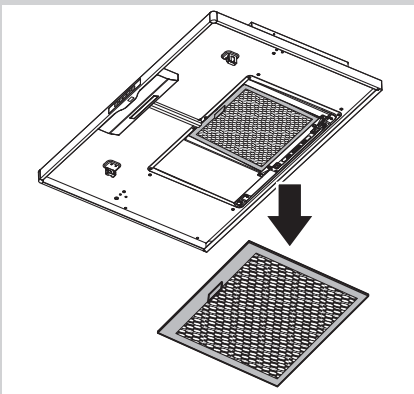
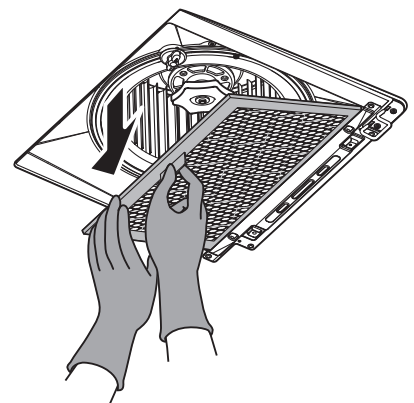
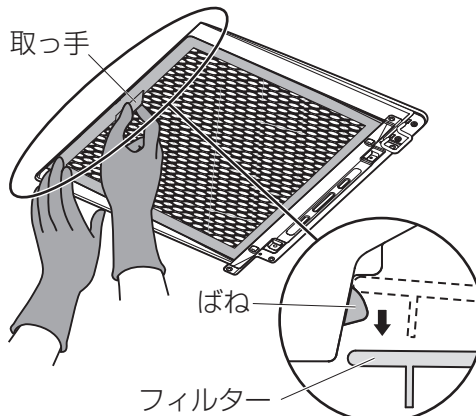
2 オイルキャッチのお手入れ（外しかた／汚れを取る）

取り外す

※油だれに注意してください。

①右側のツメを溝から外す　②左側のツメを外す

※左右の溝の構造が異なります。順番に外してください。

汚れを取る

①油や結露水がたまっている場合は、キッチンペーパーなどでふき取ってから、台所用中性洗剤で洗う。
②洗剤が残らないようによく洗い流し水分をよくふき取り、乾燥させる。

- 使用状況により、油や結露水のたまる量は異なります。
- 冬期など結露の生じやすい時期は、たまった水をこまめに捨ててください。
- 油の使用量、コンロの違いなどの使用環境により油や結露水がたまらない場合がありますが、異常ではありません。
- 汚れたまま放置したり、ご使用などで部品が傷んできたら、お早めに交換してください。（オイルキャッチは消耗部品としてお求めになれます）

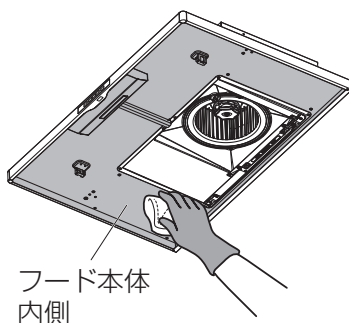
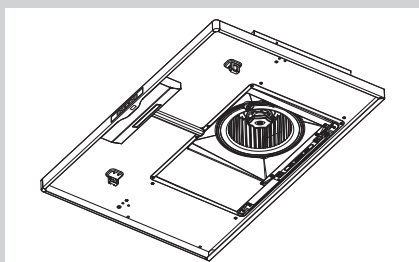
3 フィルターのお手入れ（外しかた／汚れを取る）

取り外す

①フィルターの取っ手を持ち、　②下へおろして外す

汚れを取る

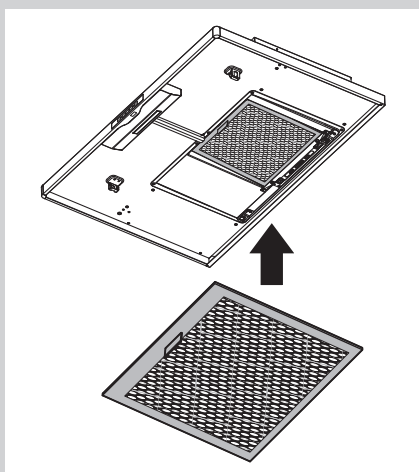
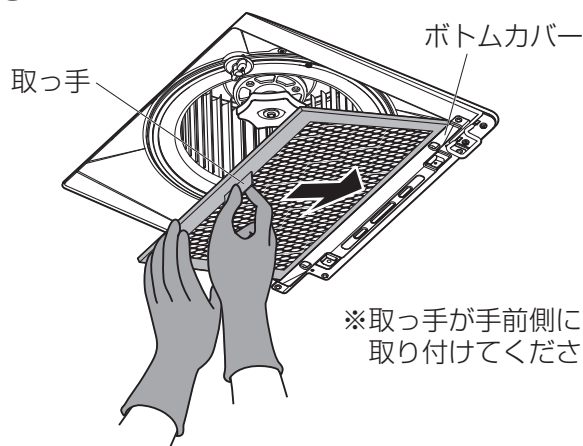
①台所用中性洗剤と樹脂製ブラシなどで汚れを落とす。
②洗剤が残らないようによく洗い流し、水分をよくふき取り、乾燥させる。

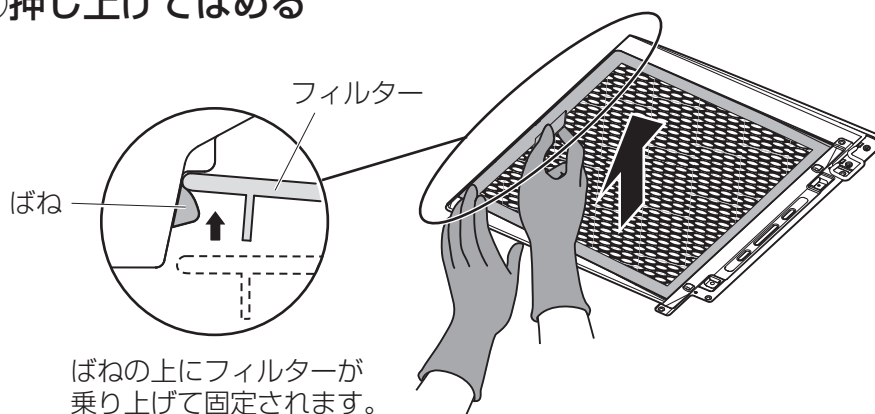
お願い
- 金属たわしなどは使用しないでください。
- 食器洗い乾燥機では洗浄しないでください。（アルカリ性洗剤を使用しているため、変質、変色が生じることがあります）
- 常時換気設備としてご使用の場合、フィルターにほこりが付着して吸い込みが悪くなることがありますので、こまめにお手入れしてください。

4 フード本体内側のお手入れ（汚れを取る）

汚れを取る

台所用中性洗剤に浸したスポンジで汚れをふき取る。
洗剤が残らないように水ぶきする。

5 フィルターを取り付ける

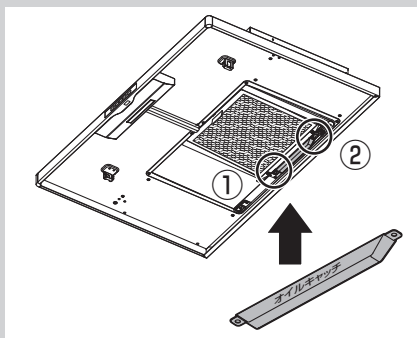
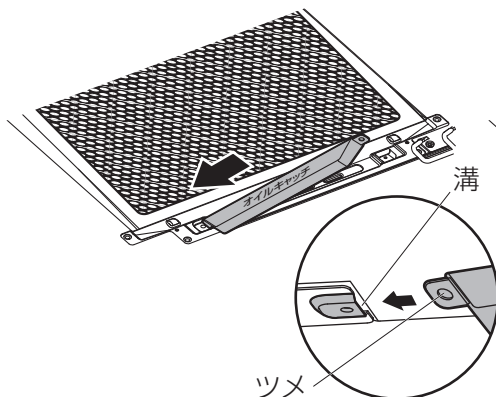
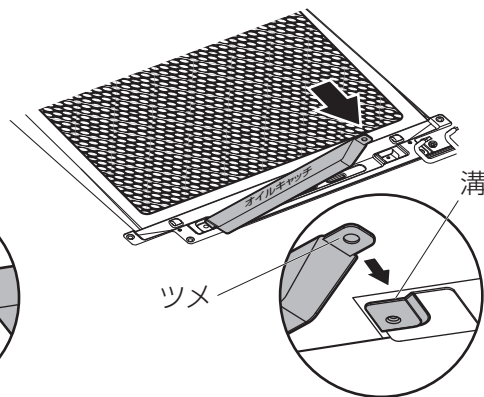
取り付ける

①フィルターの取っ手を持ち、ボトムカバーの奥側に差し入れる

※取っ手が手前側になるように取り付けてください。

②押し上げてはめる

ばねの上にフィルターが乗り上げて固定されます。

※フィルターは少しななめに取り付きます。

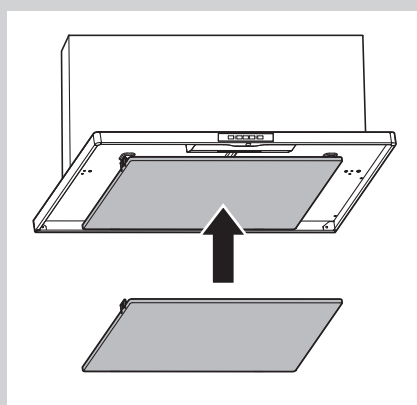
（お願い） フィルターがきちんと固定されているか確認してください。
固定されていないと落下するおそれがあります。

→ 6 へつづく

お手入れのしかた（続き）

6 オイルキャッチを取り付ける

※「オイルキャッチ」の刻印を手前に向けて取り付けてください。
※左右の溝の構造が異なります。順番にはめてください。

お願い オイルキャッチがきちんと固定されているか確認してください。
固定されていないと落下するおそれがあります。

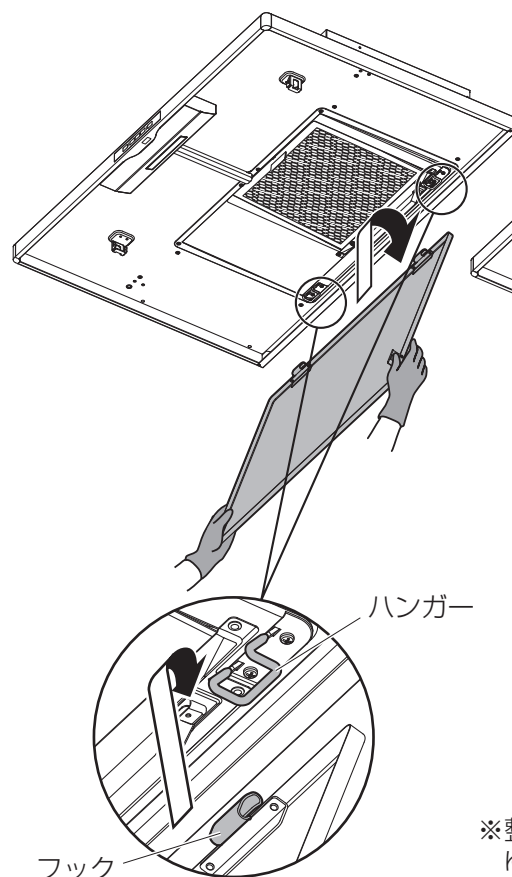
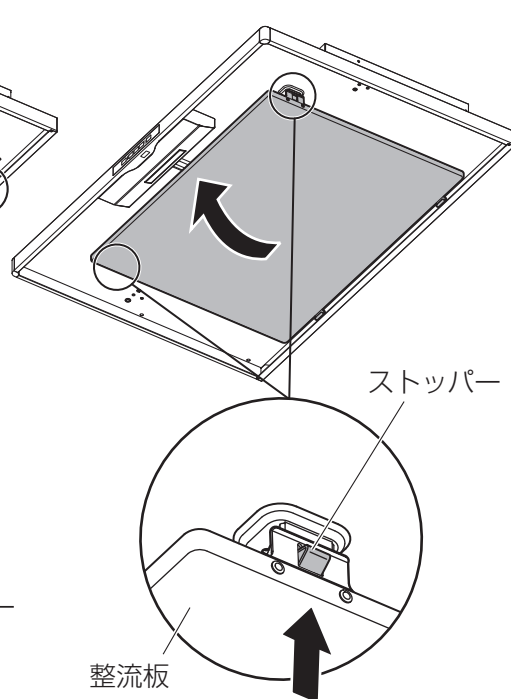
7 整流板を取り付ける

取り付ける

①ハンガーにフックを掛ける　②整流板を押し上げる

ハンガー

フック

ストッパー

整流板

整流板金具の穴がストッパーにきちんとはまるまで押し上げる。

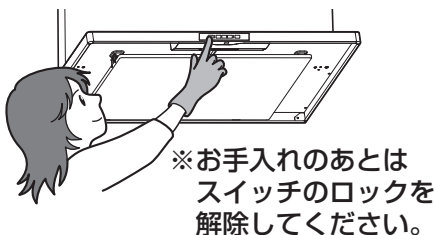
※整流板の開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。
落下させると突起物に干渉し、変形および破損のおそれがあります。

お願い
・整流板がきちんと固定されているか確認してください。
固定されていないと落下するおそれがあります。

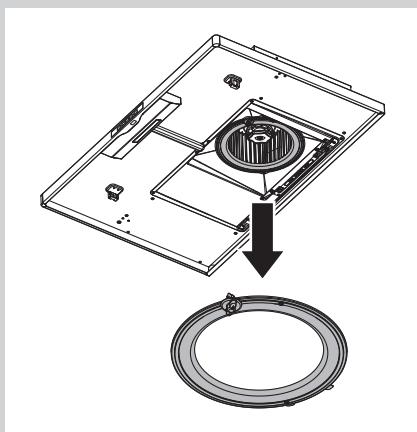
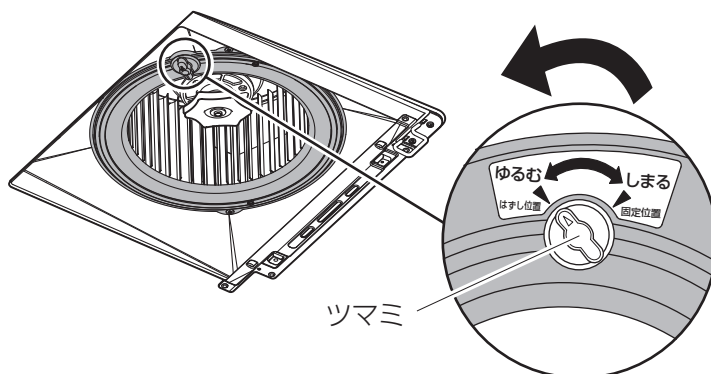
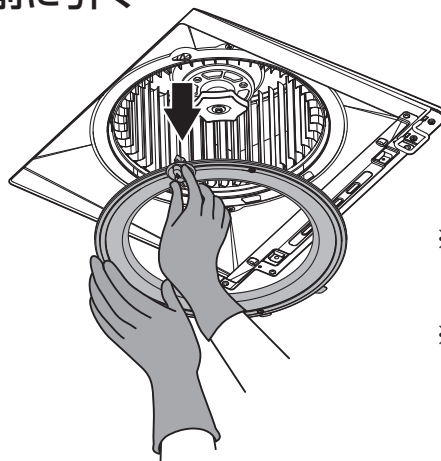
「3か月に1回程度のお手入れ」→次ページ

お手入れの前に

フード本体の
スイッチをロックする

※お手入れのあとは
スイッチのロックを
解除してください。

1 整流板・オイルキャッチ・フィルター・フード本体内側のお手入れをする
（**1** ～ **4** 9～11ページ）

2 オリフィスのお手入れ（外しかた／汚れを取る）

取り外す

①ツマミを「ゆるむ」の方向に回す

②手前に引く

※オリフィスは手でささえ、落下しないようにゆっくり外してください。
※油や結露水が流れ落ちないようにオリフィスを水平に保って外してください。

汚れを取る

①ぬるま湯を入れた容器に浸し、樹脂製ブラシなどで汚れを洗い落とす。

お願い

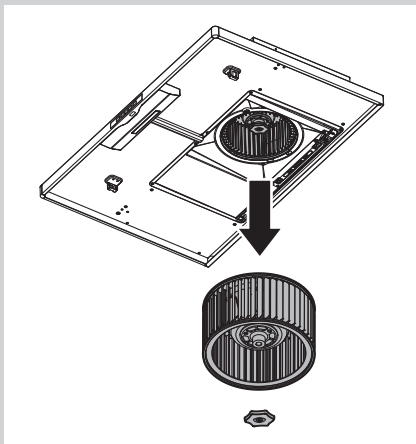
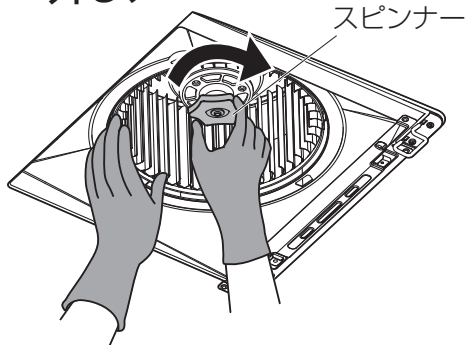
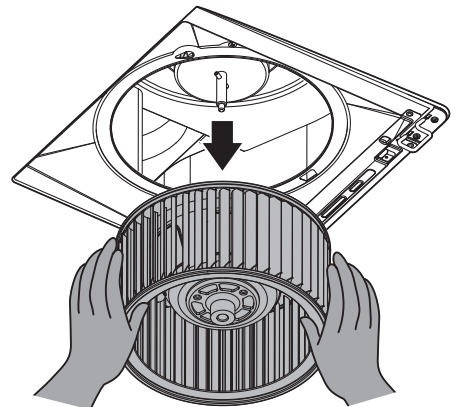
・しつこい汚れには、台所用中性洗剤を使用してください。
・金属たわしなどの硬いものは、表面を傷付けることがありますので、使用しないでください。

②洗剤が残らないようによく洗い流し、水分をよくふき取り、乾燥させる。

→**3**へつづく

お手入れのしかた（続き）

3 羽根のお手入れ（外しかた／汚れを取る）

取り外す

①スピンナーを右回り（時計回り）に回して外し、

②羽根を下に引き抜く。

※羽根は手でささえ、落下しないようにゆっくり外してください。

汚れを取る

①ぬるま湯を入れた容器に浸し、樹脂製ブラシなどで汚れを洗い落とす。

お願い
- しつこい汚れには、台所用中性洗剤を使用してください。
- 金属たわしなどの硬いものは、表面を傷付けることがありますので、使用しないでください。

②洗剤が残らないようによく洗い流し、水分をよくふき取り、乾燥させる。

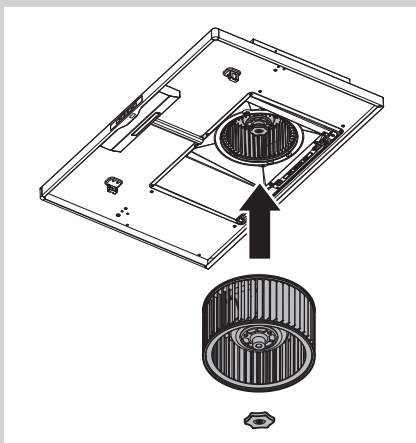
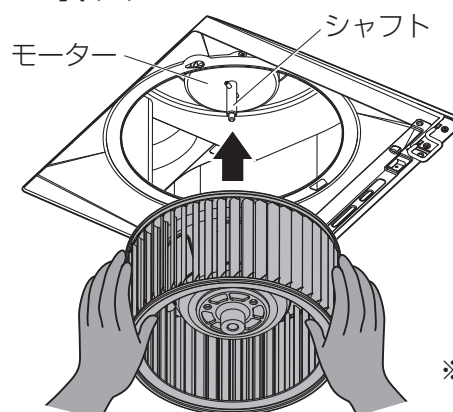
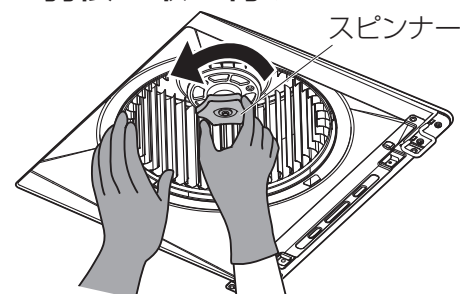
※羽根はシャフトに挿入する部分の水分を十分に取り、潤滑剤などをさしてから取り付けてください。シャフトの錆止めになり、羽根の取り外し性を維持します。

バランサー

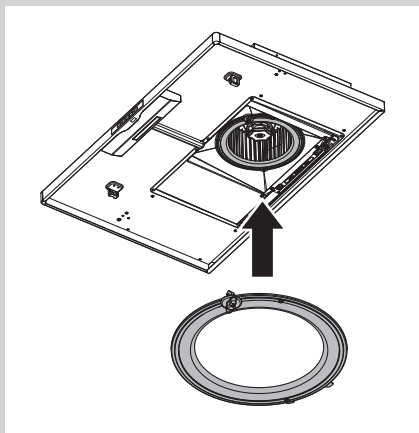
羽根

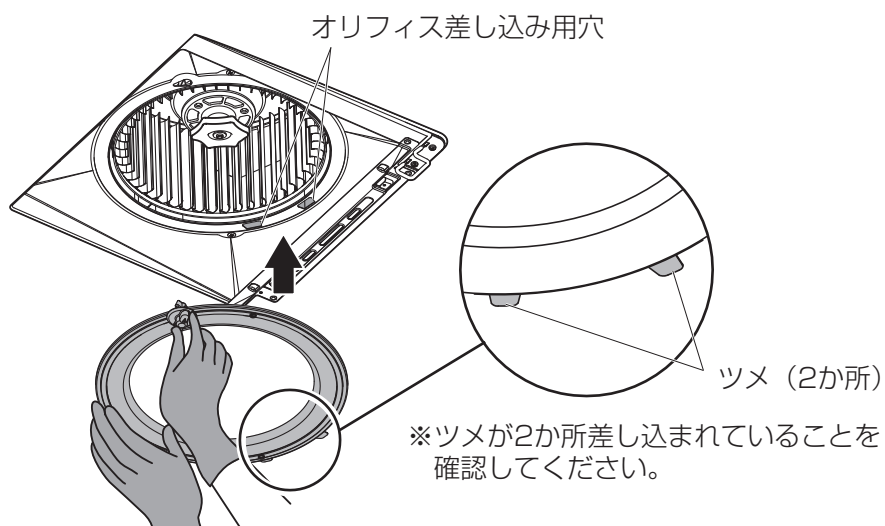
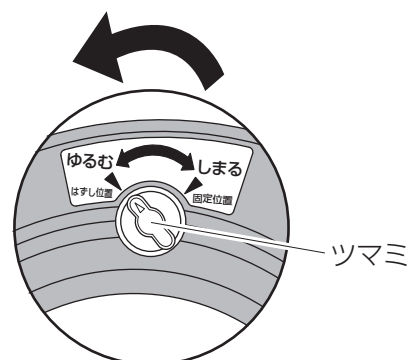
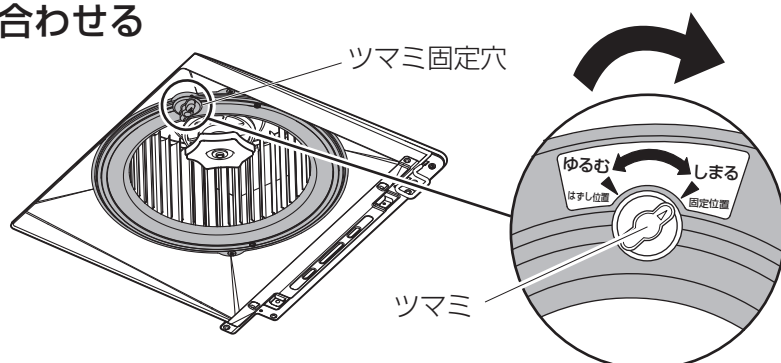
お願い 羽根の回転バランスをとるためにバランサー（重り）が付いている場合があります。絶対に外したり、動かしたりしないでください。異常や故障の原因となります。

4 羽根の取り付けかた

取り付ける

①モーターのシャフトに挿入し、

②スピンナーを左回り（反時計回り）に回して羽根を取り付ける。

※羽根は変形させないよう十分気をつけてください。
※スピンナーは確実に取り付けてください。

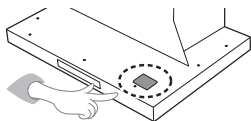
5 オリフィスの取り付けかた

取り付ける

①オリフィスのツメ（2か所）を
オリフィス差し込み用穴に差し込む。

※ツメが2か所差し込まれていることを
確認してください。

②ツマミを「ゆるむ」に合わせる

③ツマミを「ツマミ固定穴」に入れ、「しまる」に
合わせる

※ツマミを引っぱってオリフィスが
外れないことを確認してください。

6 フィルター・オイルキャッチ・整流板を取り付ける

（5～7 11～12ページ）

故障かな！？ 修理を依頼される前に次の点をもう一度お調べください。

お問い合わせや修理を依頼される前に、まずご確認ください。

下記の項目を読み、該当する内容がないか確認する。

該当する項目が無ければ・・・

「品番表示位置」で、製品の品番を確認する。

お買い上げの販売店または18ページに記載のご相談窓口に電話する。

症　状	原　因	対　応（参照ページ）
運転しない。	スイッチがロックされていませんか。	ロックを解除してください。(5ページ)
	分電盤のブレーカーが「切」になっていませんか。	分電盤のブレーカーを「入」にしてください。
吸い込みが悪い。	屋外フードが目づまりしていませんか。	屋外フードを清掃してください。
	フィルターが汚れていませんか。	清掃してください。（10ページ）
	給気は十分ですか。	十分な給気を確保してください。
	エアコンなどの風があたっていませんか。	風があたらないようにしてください。
換気連動しない。（調理機器を「入・切」してもレンジフードが動作しない）	換気連動モードが解除されていませんか。	換気連動モードを再設定してください。（17ページ）
	送信部・受信部が汚れていませんか。	清掃してください。（8ページ）
	<IH調理機器の場合> 鍋などで送信部が隠されていませんか。	送信部が隠れないようにしてください。（6ページ）
	<ガス調理機器の場合> ・赤外線信号が反射できていないおそれがあります。	送信部の近くに立ちすぎたり、離れすぎている場合、動作しないことがあります。（6ページ）
	・調理機器の電池が消耗していませんか。	調理機器の電池を確認してください。（6ページ）
調理機器側の操作でファンの運転が停止しない。	常時換気モードに設定されていませんか。	設定を解除してください。(17ページ)
調理機器と連動して照明が点灯しない。調理機器と連動して照明が消灯しない。	照明連動モードが解除されていませんか。	再設定してください。(17ページ)
	手動で照明を操作しませんでしたか。（直前に手動で操作した場合、手動操作が優先されます）	手動で照明を消灯してください。（5～6ページ）
運転終了直後に風切り音がする。	電動シャッターを使用していませんか。	故障ではありません。 シャッターが閉まるときに空気の通路が狭くなるために起こる音です。
異常音がする。	スピンナーがゆるんでいませんか。	スピンナー、ツマミを締め直してください。（14～15ページ）
	オリフィス固定のツマミがゆるんでいませんか。	
	フィルターが汚れていませんか。	清掃してください。（10ページ）
	給気は十分ですか。	十分な給気を確保してください。
給気電動シャッターが閉じるのが遅い。	――――	故障ではありません。 シャッターからの風切り音を低減させるためです。

処置したあとに、なお異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず分電盤のブレーカーを切り、お買い上げの販売店・工事店または保証とアフターサービス（P.18）に記載のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

もっと知りたいとき

換気連動システムとしてご使用の場合、停電やお手入れ時にブレーカーを切ったあとなどの電源投入時にはシステムの設定が初期状態に戻りますので、再度設定する必要があります。

各種モードの設定を変える

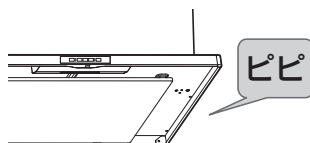
換気連動システム対応の調理機器をご使用の場合に設定できます。
設定すると、調理機器の操作と連動してレンジフードが動作します。

常時換気モードの設定/解除

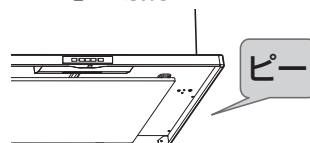
レンジフードを常時換気設備として使用する場合に設定します。
販売時は「解除」されています。

※スイッチ近くに 24時間連続換気してください のラベルが貼ってある場合、建築基準法により常時換気が必要な建物です。「常時換気モード」を設定してご使用ください。

設定

停止状態で3秒以上押す。

※調理機器を切ると、残置運転後に常時で24時間連続換気します。

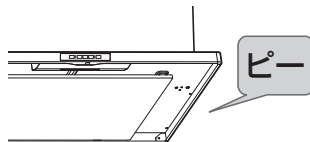
解除

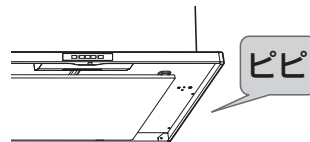
再度3秒以上押すと「常時換気モード」が解除されます。

※調理機器を切ると、残置運転後に停止します。

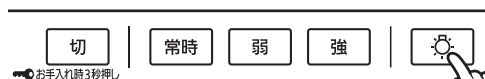
換気連動モードの設定/解除

調理機器の「切/入」と連動して運転します。
販売時は「設定」されています。

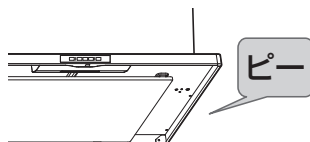
解除

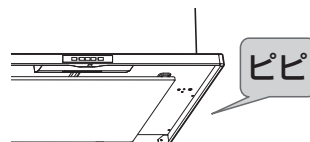
停止状態で3秒以上押す。

再設定

再度3秒以上押すと「換気連動モード」に設定されます。

照明連動モードの設定/解除

換気連動モードが設定されているときに照明も連動します。
販売時は「設定」されています。

※換気連動モードが解除されているときは、照明連動モードの設定ができません。

解除

停止状態で3秒以上押す。

再設定

再度3秒以上押すと「照明連動モード」に設定されます。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　話　（　　　）　　ー

お買い上げ日　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「故障かな！？」（16ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名　　レンジフード

●品　番

●故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料　診断・修理・調整・点検などの費用

部品代　部品および補助材料代

出張料　技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 6年

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます

●修理に関するご相談は…

パナソニック エコソリューションズ 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 0120-872-150（パナニ イコー）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

365日 受付9時～20時

■上記番号がご利用いただけない場合は　06-6906-1090

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

消耗品・交換部品・後付パーツのご用命は

ハイ・パーツショップサイト　ハイ・パーツショップ　検索　http://www.sumu2.com/shop/parts/

ハイ・パーツショップ（一般のお客様用）

フリーダイヤル 0120-055-802（ゴーゴー パーツ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

【受付時間】月～金　/9：00～19：00
土・日・祝日/9：00～17：00

※GW休暇・夏季休暇・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。
※ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問い合わせください。

●左記番号がご利用いただけない場合は　06-6906-1224

消耗品など部品のご注文、ご相談は、「ハイ・パーツショップ」へお問い合わせください。

消耗部品	品番	必要個数
フィルター	FRH1630101	1
オイルキャッチ	FRH0250013	1

※フィルターはアルミ製、オイルキャッチは鋼板製です。
廃棄方法は、各市町村の処理方法に従ってください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

品　番	質量 (kg)
S43AHWZ1M	12
S43AHWZ2M	13
S43AHWZ3M	13.5

電　源	風量調節	消費電力 (W)	換気風量（m³/h）		騒音 (dB)
			0Pa時	100Pa時	
交流100V 50/60Hz	強	85/96	524/502	427/424	45.5/45
	弱	46/49	322/298	ー	34.5/33
	常時	13/15.5	135/145	ー	18.5/19

●静圧0Pa（パスカル）とは、レンジフードにおよぼす圧力が「0（ゼロ）」の状態を示します。
●このレンジフードは、ご使用にならないときでも約0.5Wの電力を消費しています。
●レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。
●消費電力・換気風量・騒音の測定は JIS C 9603 によります。
●騒音値は当社無響音室で測定した値ですので、実際に設置した状態では反響などの影響を受け、表示数値より高くなります。

Panasonic

出張修理

レンジフード保証書

※お客様	お名前　　　　　　　　　　　　様 ご住所 電話番号
※販売店	取扱販売店名·住所·電話番号

※お引渡し日	年　　月　　日
シリーズ·品番	S43AHWZ1M, S43AHWZ2M, S43AHWZ3M
保証期間	（お引渡し日から）　　1年間 （ただし消耗部品は除く）

ご販売店様へ　上記※印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

本書はお引渡し日から本書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
   （ハ）この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）消耗部品（電球、フィルター、電池）の取替えや修理
   （ハ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
   （ニ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）等による故障及び損傷
   （ホ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   （ヘ）仕上げのキズ等で、お引き渡し時に申し出がなかったもの
   （ト）瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
   （チ）維持管理の不備による汚れ、さび等の不具合
   （リ）取付設置説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する損傷や故障
   （ヌ）契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
   （ル）保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
   （ヲ）一般家庭用以外（例えば業務用等）に使用された場合の故障及び損傷
   （ワ）本書のご提示がない場合
   （カ）保証書にお引き渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き替えられた場合
   （ヨ）離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
6. お客様ご相談窓口は「保証とアフターサービス」（18ページ）をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571-8686　大阪府門真市大字門真1048　TEL(06)6908-1131（代表）
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511（代表）

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件　日本工業規格 JIS C 9921-2 による

環境条件	電圧	単相100Vまたは単相200V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hzまたは / および60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の取付設置説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間a) 台所　2410時間/年 居室　2193時間/年 トイレ　2614時間/年 浴室　1671時間/年	

注a)　常時換気（24時間連続換気）のものは、8760時間/年とする。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://www.panasonic.com/jp/support/

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの
「87」と「990＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187　■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan　Tokyo (03) 3256-5444　Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

パナソニック エコソリューションズ 修理サービスサイト
http://sumai.panasonic.jp/support/repair/

パナソニック エコソリューションズ 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 0120-872-150（パナニ イコー）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
365日　受付9時～20時

■上記番号がご利用いただけない場合は　06-6906-1090

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

消耗品・交換部品・後付パーツのご用命は

ハイ・パーツショップサイト　ハイ・パーツショップ　検索　http://www.sumu2.com/shop/parts/

ハイ・パーツショップ（一般のお客様用）
フリーダイヤル 0120-055-802（ゴーゴー パーツ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

【受付時間】月～金　/9：00～19：00
土・日・祝日/9：00～17：00
※GW休暇・夏季休暇・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。
※ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問い合わせください。

●左記番号がご利用いただけない場合は　06-6906-1224

愛情点検　長年ご使用のレンジフードの点検を！

このような症状はありませんか
- スイッチを入れても回転音が不規則に聞こえたり回転しない。
- 運転中に異常音がしたり振動がある。
- 異臭がする。
- その他、異常を感じる。

ご使用中止
このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、必ずお買い上げの販売店または工事店に点検・修理を依頼してください。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

9HGC44202AMD4-P0414-1044